

第3章

基本方針ごとの取り組み






令和4年度 公益財団法人須賀川牡丹園保勝会主催
第21回牡丹絵画展 須賀川市教育委員会教育長賞
須賀川市立西袋中学校1年 石井 遙菜さん

基本方針 1 市民・事業者とともに光る緑を育む

基本方針 1 は、緑に関する全ての取り組みの基本姿勢として共通する方針です。

本市が「水と緑が豊かなまち」であり続けるためには、行政と市民・事業者が協力・連携し、主体的に緑に関する活動に取り組むことが重要です。

このため市民の緑に関する理解度を高めるとともに、市民との協働に加えて、「須賀川市公民連携（PPP^{※1}）取組方針」に基づき、民間団体や民間事業者との対等な関係を構築し、多様な主体が関わる「緑のまちづくり」を進めます。

基本施策 1	グリーンインフラの理解促進
	  
施策の概要	市民のグリーンインフラに対する理解と意識の醸成を図るため、緑の教育の充実と、広報紙やホームページをはじめ、多様な手段を用いた情報発信を推進します。

取組方針 1 学校教育における 緑の教育の推進

- 小学校を中心に、環境意識の啓発や環境への理解を深める学習機会を設けるなど、各学校での自然環境学習・ESD^{※2}環境教育の開催を推進します。
- 自然観察会など、子どもが緑に親しむ機会や環境保全の重要性を認識してもらうための自然体験学習や環境学習を推進します。

取組方針 2 生涯学習における 緑の教育の推進

- 緑の学習会や親子自然体験講座など、生涯学習の一環として、緑にふれる交流の機会を確保し、環境教育を推進します。
- 生涯学習においても ESD 環境教育を推進し、緑の活動に主体的に関わる担い手の育成を推進します。

取組方針 3 緑の情報提供の充実

- 広報紙やホームページ・SNS 等、多様な媒体を活用し、緑に関する情報提供を行います。
- テレビやラジオ、情報誌等、メディアと連携し、緑のテーマの周知に努めます。

メッセージ

広報紙や HP、書籍等を活用し、グリーンインフラの意味や必要性を考えてみよう



取組方針 1 →

コラム 1 子どもの頃から環境について学ぼう

市内の小学校では、「ふるさと学習」の活動で宇津峰に登り、森の案内人の先生方に説明をしてもらったり、ESD 教育の一環として再生エネルギーや自然資源に関する授業を行ったりと、体験をまじえた環境学習を行っています。親子で一緒に体験し学ぶ機会なども増えるといいですね。



大森小学校の自然環境学習



取組方針 2 →

コラム 2 緑化活動→地域活動→交流や生きがい



小塩江コミュニティセンターの植花活動



東コミュニティセンターの除草作業

このような地域住民の活動が緑豊かで潤いのあるまちを形づくっています。また、活動を通じて地域住民同士が交流を深めることで、地域の賑わいや生きがいのある暮らしにも繋がります。更に、こうした身近な緑の活動も「まちづくり」の一環であり、地域住民が主体的に活動することで公民連携が促進されます。

緑の 情報発信

- 須賀川市公式ホームページ内「都市計画」で公園に関する情報を発信しています。また、須賀川市都市公園Instagramにおいて、四季折々の風景やイベント等を紹介しています。
- ラジオ「ウルトラ FM」で公園に関する市政情報を発信していきます。

※1 PPP : Public Private Partnership. 公民連携。行政と民間が連携協働により、最適な公共サービスを供し、地域の価値や市民満足度の最大化を図る手法の概念の総称

※2 ESD : Education for Sustainable Development. 持続可能な開発のための教育。環境学習。

公民連携体制の構築

基本施策 2



施策の概要

緑に関する取り組みは公民連携を基本とし、行政と関係団体、関係団体同士が、互いに情報共有ができる体制の構築を推進します。

取組方針 1

関係団体・組織への活動支援

- 町内会など、市内で緑の活動を行う市民団体へ、情報提供や意見交換の場の提供、用具の貸し出しなど、必要に応じ、活動のための支援を行います。

取組方針 2

中間支援組織の育成、支援

- 公民連携を進めるに当たり、民間の活動主体と行政との話し合いや情報共有を円滑にし、取りまとめや調整を行う中間支援組織の育成や支援を検討します。
- 先進的な中間支援組織による緑の活動や活用事例について、学習の機会を設け理解を促進します。

取組方針 3

情報共有の仕組みづくり

- グリーンインフラの理解促進や関係団体・組織の活動支援を通じ、民間と行政がより円滑に情報共有できる仕組みを検討します。
- 各部署が協調し、各施策を効果的・効率的に実施できるよう連携を図ります。

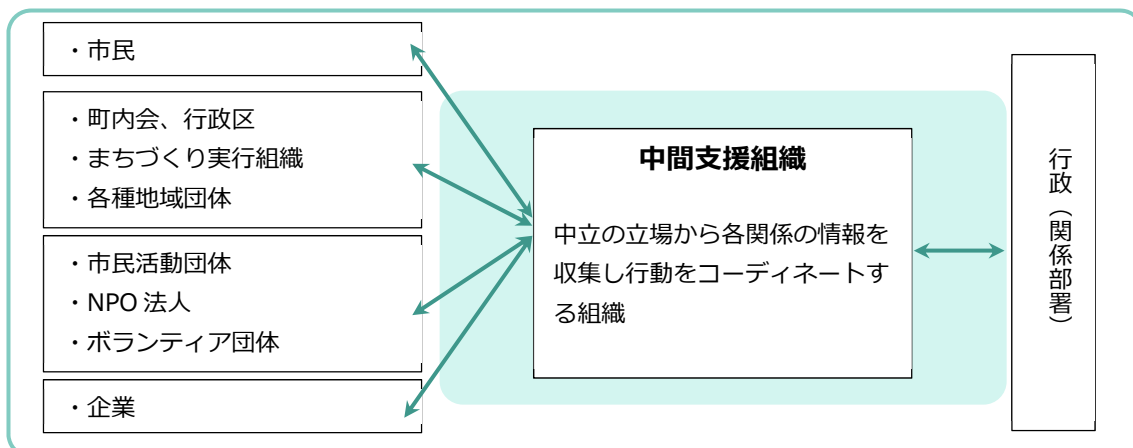
メッセージ

行政や団体がどのような活動をしているか調べてみよう

解説

中間支援組織って何？ ～当事者だけでは難しい課題の解決を支援

中間支援組織とは、市民と市民、市民と行政、行政と企業などの間に立って、そのパイプ役として中立的な立場で、それぞれの活動を支援する組織のことです。





取組方針 1→

活動者の声①

「空青く、山みどり濃く、水清く」そんな故郷を子どもたちへ



水生生物による水質調査：白方小学校（左写真）、第一小学校（右写真）

遊水会は、子供たちが遊べる川づくりを目指し、主に江花川での環境活動を実施しています。現在、市内小学校において、「せせらぎスクール」を実施しています。

「せせらぎスクール」では、子供たちが直接川に入り、河川環境を体験します。それにより、子供たちに驚きなどの感動が沸き上がり、子供たちの見方、考え方、感じ方のなかに水質や環境に対する保全意識も芽生え膨らむものと思います。同時に「おや？なぜ？調べてみよう。」との探求心が育まれます。

子供たちには、河川の現状理解から河川環境を保全するため、しいては地域環境を保全するために何をなすべきかを考えてほしいと願っています。

遊水会事務局 佐藤喜久雄さん



取組方針 1→

コラム3 野生生物観察会 学び楽しみながら自然を守る活動を支援



「自然観察の会ふくしま」による野生生物観察会

市街地に位置する翠ヶ丘公園には、たくさんの野生生物が生息しています。野生生物の中には希少野生生物も生息しています。今後も、生息環境を保全し、緑の大切さ、価値を次の世代へ繋いでいく市民活動を須賀川市もサポートしていきます。




基本方針 2 身の周りの緑化を推進し公園を多様に楽しむ

基本方針 2 は、中心市街地や私有地、公園・緑地の緑の活用に関する方針です。

本市では、翠ヶ丘公園内においてパーク P F I 事業を進めていることをはじめ、Rojima[※]など市民主体で公共空間を活用し、生活を楽しもうとする動きが活発です。

公園や緑地における緑の量は概ね充足していることから、今後の目標は、公園や緑地を更に活用することで、市民の緑に関する満足度を高めることです。

なお、市中心市街地活性化基本計画のエリアを緑化重点地区に指定し、緑に関する取り組みを重点的に進めます。

基本施策 3	緑が光るまちづくり			
	施策の概要	中心市街地の緑の保全を図るとともに、公共空間の利活用を推進します。緑の空間が環境として存在するだけでなく、賑わいや活力を創出する交流の場となるよう、緑が光るまちづくりを促進します。		

取組方針 1

中心市街地の
緑化促進

- 現存の緑が美しい景観を保つよう、適切に保全します。
- 市民の主体的な活動による緑化活動を促進します。

取組方針 2

公共施設用地の
民間利用の促進

- 現存の緑の効率的かつ効果的な利用を促進します。
- 緑の空間を、民間のイベント利用など、「賑わいの創出」に寄与する場として捉え、安全性に配慮しながら利用条件の緩和や手続きの効率化など、公共施設用地の多様な利活用を促進します。

取組方針 3

保存樹等歴史的な
緑の保全

- 天然記念物や福島県緑の文化財等の歴史的な緑について、広報紙や生涯学習の機会などで周知し、理解を促進します。
- 寺社林を含む保存すべき樹木は、所有者と連携を図りながら、適切な保全を推進します。

メッセージ

歴史的な緑に触れ、その背景について調べてみよう

※ Rojima : ロジマ。平成 27 年に始まった民間団体主催の定期市。休日にはほとんど使われていない駐車場や主人がいない空き店舗を利用して開催され、まちなかに賑わいを生んでいる。



取組方針 1 →

コラム 4 建物の中でも緑は楽しめる「tette を飾る緑」

市民交流センター「tette」は、設計の段階から災害や環境負荷低減を考慮しただけでなく、室内の緑にも配慮しました。建物の至る場所で「緑」を感じることができるよう、外構や植栽ボックスの配置においては、須賀川の里山に根付いている樹種を選定することで、須賀川らしい緑が光る施設となっています。



tette の外構（イロハモミジ他）



tette 3F サンルーム



取組方針 1 →

コラム 5 東京 2020 オリンピックの機運醸成を願いサルビアを飾花した 円谷幸吉メモリアルパーク

昭和 39 年東京オリンピックマラソン競技で銅メダルを獲得した、本市出身の円谷幸吉選手の功績を称えるとともに、東京 2020 オリンピック聖火リレーのトーチキスポイントに決定したことを記念し、令和 2 年 3 月 28 日に「大町よってけ広場」を「円谷幸吉メモリアルパーク」に名称を変更しました。東京 2020 オリンピック聖火リレーの際には、昭和 39 年東京オリンピック聖火リレーから代々受け継がれたサルビアを飾花し、聖火ランナーを迎え入れるとともに、東京 2020 オリンピックの開催に花を添えました。



東京 2020 オリンピック
聖火リレー時に飾花され
たサルビア



歴史的文化資源

須賀川市は、古代には石背国の中心として、鎌倉時代以降は二階堂氏が支配し、江戸時代以降は宿場町として栄え、市内には、様々な歴史的文化資源が数多く残され、地域の歴史文化を伝えるとともに、緑に囲まれた貴重な財産となっています。

表 自然環境に囲まれた指定文化財

No	名称	指定年月日	所在地	指定	種別
1	宇津峰	昭 6.7.31	塩田字雲水峯	国	史跡
2	須賀川一里塚	昭 11.9.3	一里坦・高久田境	国	史跡
3	米山寺経塚群	昭 12.12.21	山寺町	国	史跡
4	須賀川の牡丹園	昭 7.10.19	牡丹園	国	名勝
5	古寺山の松並木	昭 34.3.17	上小山田字古寺 外	県	天然記念物
6	永泉寺のコウヨウザン	昭 36.3.22	長沼字寺前	県	天然記念物
7	古館のサクラ	昭 51.5.4	榊衝字古館	県	天然記念物
8	護真寺のサクラ	昭 51.5.4	横田字北之後	県	天然記念物
9	勢至堂の大杉	昭 43.4.1	勢至堂字平四郎	市	天然記念物
10	藤沼神社の大杉	昭 43.4.1	江花字藤沼	市	天然記念物
11	志茂の大杉	昭 43.4.1	志茂字桜堂	市	天然記念物
12	三嶽神社の白藤	昭 43.4.1	小中字上三	市	天然記念物
13	子安観音堂のヒイラギ	昭 46.4.1	榊衝字狐化	市	天然記念物
14	勢至堂モリアオガエル生息地	昭 48.4.1	勢至堂地内	市	天然記念物
15	永泉寺のシダレザクラ	昭 56.4.1	長沼字寺前	市	天然記念物
16	横田陣屋御殿桜	昭 60.5.1	横田字北之後	市	天然記念物
17	奥州のつなぎ杉	平 10.11.16	矢沢字与藤治	市	天然記念物
18	めおと杉	平 10.11.16	深渡戸字江持	市	天然記念物
19	牡丹園の大ケヤキ	平 17.8.26	牡丹園	市	天然記念物
20	二階堂神社の大ケヤキ	平 24.3.15	宮先町	市	天然記念物

宇津峰



標高 677mの阿武隈山系に属する独立峰で、南北朝時代、南朝方の田村氏の勢力下にあったことと自然の要害として最適であったことから、奥州南朝方の要として城が築かれた。

須賀川の牡丹園（国指定名勝）

大輪の見事な花を咲かせる牡丹。数多くある花の中で、これほど豪華で豊麗な花はないといわれる百花の王。須賀川市を代表する国指定の名勝「須賀川の牡丹園」。広さ 10 ヘクタールの園内には、290 種、7,000 株の牡丹が咲き誇ります。

牡丹の季節以外にも、四季折々の風景が楽しめ、夏は大池の水辺に映る緑、秋の真っ赤に染まった紅葉が彩る風景は必見。11 月上旬には寒牡丹も咲きはじめ、四季を通じて訪れた人々の目を楽しませてくれます。



牡丹園の四季 春 ①：5月上旬から咲き誇る、銘柄牡丹は見事 ②：正面入り口の牡丹姫像
夏 ③：大池には水蓮や水芭蕉などの水生植物も楽しめる
秋 ④：牡丹稲荷神社周辺は、色鮮やかに染まった紅葉が見事
冬 ⑤：11月上旬から見ごろとなる寒牡丹 ⑥：真っ白な雪が一面に広がる圃場も幻想的



歴史的文化資源（天然記念物）

※樹齢は各指定時の樹齢

古館のサクラ



エドヒガンのシダレとしては、福島県内有数の巨木で、満開時には樹全体が白色に近い淡いピンクの花で覆われる。木の根元に不動尊の石像が祀られていることから、不動桜とも呼ばれている。

樹種：エドヒガンのシダレ
樹高：17m 根周：5.9m
目通り幹回り：4.4m
推定樹齢：450年
開花時期：4月上旬
所在地：杵衝字古館

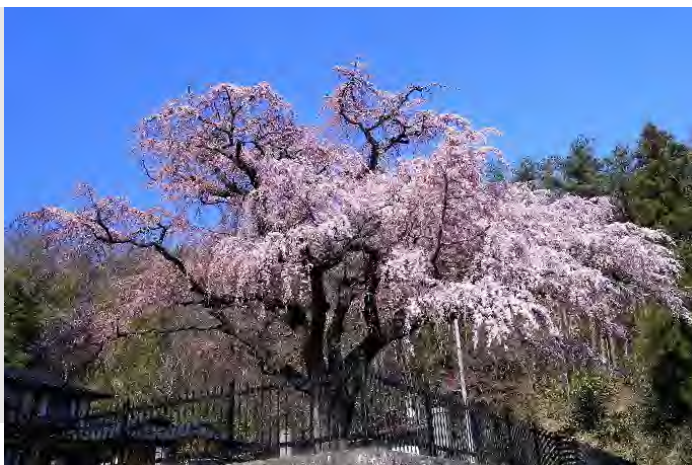
護真寺のサクラ

観応2（1351）年、護真寺が開山された折に植えられたとの伝説も残っている。樹を覆う淡いピンクの花は、一幅の画のような趣がある。

樹種：エドヒガンのシダレ
樹高：15m 根周：5.8m
目通り幹回り：4.2m
推定樹齢：450年
開花時期：4月上旬
所在地：横田字北之後



永泉寺のシダレザクラ



満開になると、地面につくほど長く垂れ下がった枝に、赤みがかったピンクの花が無数につく様は、まるで滝を思わせる。

樹種：エドヒガンのシダレ
樹高：17m 根周：6m
目通り幹回り：3.3m
推定樹齢：300年
開花時期：4月中旬
所在地：長沼字寺前

横田陣屋御殿桜



江戸時代、この地の領主の邸宅内に植えられていたことから「御殿桜」と呼ばれ、大切にされた桜だと伝えられている。長沼地域で一番早く咲く桜で、濃いピンクの花がこぼれ落ちるように咲く姿は圧巻である。

樹種：エドヒガンのシダレ
樹高：12m 根周：3.5m
目通り幹回り：3.1m
推定樹齢：300年
開花時期：4月上旬
所在地：横田字北之後

永泉寺のコウヨウザン

コウヨウザンは、もともと中国南部原産の裸子植物で、江戸時代に我が国に渡来したと言われている。永正13（1516）年当時の第三世心操全忠大和尚が四国より当時に入山する際、愛養の苗木を持参したものと伝えられている。冬季の寒さが厳しいなか、本樹は当地で見事に生長し、毎年結実し、発芽力のある種子を結んでいる。

樹種：コウヨウザン（広葉杉）
根周り：約6m 目通り周囲：約4m
樹高：約30m 枝張り：約13m（東西） 約14m（南北）
推定樹齢：450年
所在地：長沼寺前



奥州のつなぎ杉



市内矢沢の白山寺境内、参道入口の左側にある。植えられた当時は、1m間隔で9本並んでいたが、大正時代、お寺の修理のためこの杉を売って資金の一部に当てられたと言われ、現在は4本のみ残っている。このうち3本は同じ間隔で並び、根が連結されている。もう1本は3本から離れており、松の木に抱かれるように生育している。

樹種：スギ
推定樹齢：250年
目通り周囲：3本は約1.5m
所在地：矢沢字与藤治



歴史的文化資源（天然記念物）

藤沼神社の大杉



古い文献にある富士沼荘（不時沼）の地名に由来する藤沼神社の境内にある。4本が杵形状に並んで生えていたことから「杵形スギ」とも呼ばれている巨木である。

樹種：スギ 推定樹齢：約600～650年

樹高：約42m

目通り周囲：約4.7、4.5、4.2m

所在地：江花字藤沼

めおと杉



市内深渡戸の鹿島神社に残る樹木。参道を登ると、社殿のそばに2本の大杉があり、その2本の杉の根が連結している姿が、ともに支えあっている夫婦のように見えたことから「めおと杉」の名がついたとされている。

樹種：スギ 推定樹齢：約400年

樹高：約30m

目通り周囲：約3m

所在地：深渡戸字江持

志茂の大杉



文応元年（1260）年、長沼隆時が日高見山に新城を築いたと言われ、これにより白河の結城氏等と、この地で戦ったとの言い伝えが残る。当時は、一本杉と称していたとされている。

樹種：スギ 推定樹齢：750年

樹高：約30m

目通り幹回り：約6.25m

所在地：志茂字桜堂

牡丹園の大ケヤキ



この大櫨は、戦国時代の終わりころ、ここに庭園があったことの名残であるとされている。大櫨の下には池があり、水は蒼く漂っている。また、大櫨と池の間には孟宗竹の藪がある。

樹種：ケヤキ
樹高：約25m 根周：約6.3m
目通り幹回り：約5.0m
推定樹齢：400年
所在地：牡丹園

二階堂神社の大ケヤキ




市内宮先町の二階堂神社にある櫨の大木である。地域のシンボルとして地元で愛される存在である。

樹種：ケヤキ
樹高：約30m 目通り幹回り：5.0m
推定樹齢：350年
所在地：宮先町



メッセージ

みんなの大切な財産です
何をすれば次の世代へつないでいくことができるかを考えてみよう

基本施策 4	公園・緑地の活用 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>13 気候変動に具体的な対策を</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>17 パートナリシップで目標を達成しよう</p> </div> </div>
施策の概要	<p>公園や緑地の維持管理を適切に進めると同時に、利便性や防災性など機能面での充実・向上を図ります。特に、民間活力を生かすため、パークPFI事業による公民連携の取り組みを推進します。</p>

- | | |
|-------------------------------|---|
| 取組方針 1
公園の持続可能な維持管理 | <ul style="list-style-type: none"> ●公園は、人口動向やニーズを踏まえ、「公園施設等長寿命化計画」に基づき、安全・安心に利用できるよう、適切に管理します。 ●公園や緑地の管理については、適宜、地元の団体との連携を図ります。 |
| 取組方針 2
公園の利便性向上 | <ul style="list-style-type: none"> ●公園の利便性向上や「賑わいの創出」を目的とし、パークPFI事業等、公民連携の取り組みを推進します。 ●民間利用のニーズの高い公園については、公民連携による管理運営体系を検討し、公園利用の向上を図ります。 ●健康増進のためのスポーツ施設等の整備を検討します。 |
| 取組方針 3
公園の防災機能の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ●緊急避難場所として指定されている公園について、防災施設の設置や管理を検討します。 ●地域の特性に応じ、防災性向上につながる公園や緑地の維持管理を推進します。 |

メッセージ 周辺の公園等を利用して、身近な緑に触れてみよう



大黒池防災公園にはドッグランがあり、週末、多くの方が訪れています。民間主催のドッグランイベントには県外から訪れる人も多く、公園を活用した賑わいが生まれています。

- 事業**
- スポーツ施設等整備事業
 - 牡丹台公園施設整備事業